



Supercontinuum Laser

- 波長域拡張: 525nm 900nm (ECOモード), 480nm 900nm (BOOSTモード)
- 長期2年間保証*
- スーパーコンティニューム出力または内蔵のチューナブルバンドパスフィルタ による波長選択出力
- FC/PCコネクタ付き偏波保持シングルモードファイバ出力
- 外部トリガ可能: 1MHz 40MHz
- 内蔵オシレータ: 2.5MHz 40MHz (ユーザー選択可能)
- TCSPCやFLIMに便利なタイミング最適化/同期出力
- スーパーコンティニューム光の最大平均出力パワー: 250mW (ECOモード), 750mW (BOOSTモード); いずれも繰返し周波数 40MHz 時
- 波長セレクタ透過後の平均スペクトル出力パワー: 最大 1mW / 5 nm (ECOモード), 2.5mW / 5 nm (BOOSTモード); いずれも繰返し周波数 40MHz 時
- 最小パルス幅: 90ps (波長・パワーによって異なる)
- * ただしファイバコンポーネントについては、BOOSTモード使用で2000時間に制限されます。



応用例

- 時間分解蛍光分光/顕微鏡 (FLIM,FRET)
- 誘導放出抑制顕微鏡 (STED)
- 多波長励起 (PIE/ALEX)
- 単一分子分光 (FCS/FLCS, アンチバンチング)

製品概要

Solea は、独立型のPC制御 スーパーコンティニュームレーザー光源で、特に繰返し周波数について高い柔軟性をもちます。2種類の波長域と、チューナブルバンドパスフィルタの有無による4つのバージョンがあります。チューナブルバンドパスフィルタ付き (Solea, SoleaR) は波長選択が可能で、フィルタの無いバージョンでは (Solea White, SoleaR White) スーパーコンティニューム光を直接出力します。全バージョンとも FC/PCコネクタ付き偏波保持シングルモードファイバ出力です。Solea は、特許出願中ファイバー励起コントロール機能付きのゲインスイッチ・ファイバアンプレーザーダイオードと、最先端のフォトニック結晶ファイバによるスーパーコンティニューム光発生技術を組み合わせたユニークな製品です。

最高 40 MHz まで可変の繰返し周波数

Solea の特別な機能の一つは、繰返し周波数を 1~40 MHz 間で自由に変更できる点です。繰返し周波数の選択は、2.5~40 MHz からユーザーが指定した6つの固定周波数を発生する内部オシレータか、1~40 MHz 間で任意の周波数を指定できる外部トリガーで行います。この独自機能により、多波長励起スキームにおけるような他のレーザーとの同期が可能です。各パルス間の消光比は高く、パルスコントラストの悪い従来のパルスピッカーが不要です。

波長選択が簡単

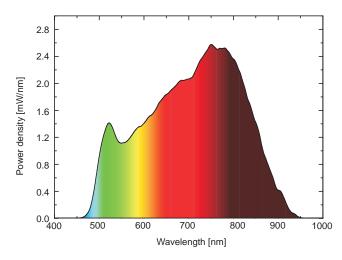
Solea の発光波長選択には、チューナブルバンドパスフィルタを用いています。フィルタは側波帯抑圧比が OD 5 (50 dB) と高く、単一分子検出に適しています。中心発光波長と、3~15 nm 間の任意のスペクトル発光幅を設定できます。フィルタを使用せずにスーパーコンティニューム光を出力することもできます。

最短480 nm までの可視偏光

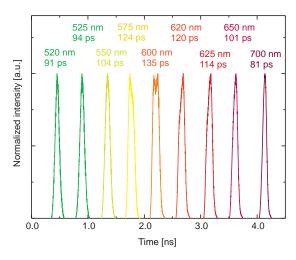
Solea は偏波保持シングルモードファイバ出力で、ECO または BOOST の2つのモードがあります。ECO モードでは、フォトニック結晶ファイバに誘導される応力が BOOST モードより小さくなります。ECO モードでの波長域は SoleaR で 525~900 nm です。スーパーコンティニューム光の平均スペクトル出力パワーは、40 MHz 繰返し周波数、ファイバ出力後で 250 mW 以上で、平均スペクトルパワー密度 0.4 mW/nm に相当します。発光波長セレクタ後での平均出力パワーは、40 MHz 繰返し周波数、5 nm スペクトルバンド幅で、1.0 mW です。BOOSTモードでは最小 480 nm まで発光できます。スーパーコンティニューム光の平均スペクトル出力パワーは、40 MHz 繰返し周波数、ファイバ出力後で 750 mW 以上で、平均スペクトルパワー密度 1.0 mW/nm に相当します。発光波長セレクタ後での平均出力パワーは、40 MHz 繰返し周波数、5 nm スペクトルバンド幅で、2.5 mW です。

最小パルス幅 90 ps

発光波長セレクタ後の出力パルス幅は、出力パワーと選択した発光波長によって異なります。代表値は約150 ps (FWHM) で、波長によって90 ps (FWHM) までの短パルスが得られます。各パルスは対応するタイミング最適化同期シグナルを伴い、TCSPCエレクトロニクスのような他のコンポーネントのトリガに利用できます。



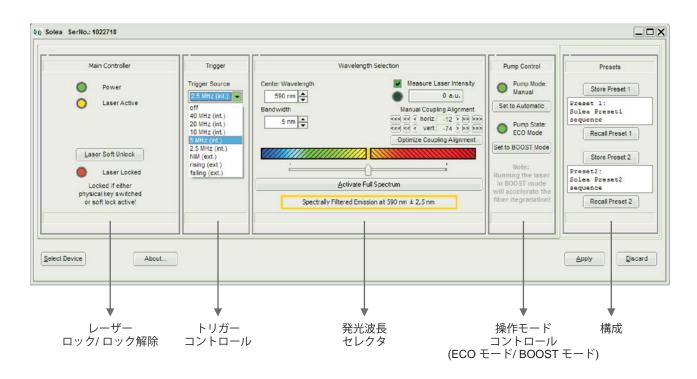
SoleaR 発光スペクトル



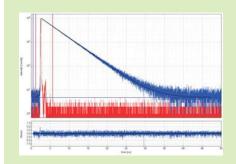
異なる中心波長でのパルスプロファイルとパルス幅 (FWHM)。発光波長セレクタ透過後。スペクトルバンド幅は 5 nm に設定。ECOモードで発振。

使い易いソフトウェアによる完全コンピュータ制御

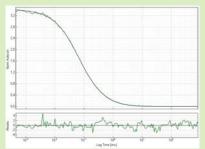
Solea は使い易い Windows 用グラフィカル・ユーザー・インタフェース (GUI) で完全コンピュータ制御できます。このソフトウェアで、出力光のパルス繰返し周波数、操作モード、中心波長、スペクトル幅をコントロールできます。様々な設定を事前に定義・保存でき、構成の変更が簡単です。カスタムプログラミング用 ライブラリでは、LabView等 他のプログラミング言語で Solea の全機能にアクセスすることができます。



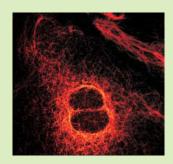
応用例



ATTO 555 エタノール溶液の蛍光寿命測定。550 nm、スペクトルバンド幅 5 nm、繰返し周波数 20 MHz で励起。データ取得にはTCSPC ベース・スペクトロメータFluoTime 300 を使用。数的リコンボリューションでデータ分析を行った結果、単一粒子の寿命は 3.87 ns (χ =1.07)。



ATTO 655 水溶液の蛍光相関分光 (FCS)。630 nm、スペクトルバンド幅 5 nm、繰返し周波数 10 MHz で励起。データ取得には共焦点顕微鏡 MicroTime 200 を使用。相関曲線がぴったりフィットされ、また長い遅延時間で振幅 0 となっていることで、レーザー出力の高い安定性が照明されている。



Solea レーザー励起による STED 顕微鏡。写真は 1次及び2次抗体を介してATTO 565 で染色したビメンチン線維。横方向の解像度は約50 nm で、予想される線維の直径は10 nm で、直径約8 nm の抗体に覆われている。(データ提供: J. Engelhardt and S.W. Hell, DKFZ Heidelberg, Germany)

Solea バージョン

Solea Supercontinuum output	Solea White	SoleaR	SoleaR White
Integrated emission wavelength selector			

一般仕樣

	Solea, Solea White	SoleaR, SoleaR White
Optical output after emission fiber Spectral range	480 nm - 700 nm (BOOST mode) polarization maintaining fiber with FC/PC	480 nm - 900 nm (BOOST mode) polarization maintaining fiber with FC/PC
Supercontinuum output Average output power @ 40 MHz repetition rate Average spectral power density @ 40 MHz repetition rate	> 250 mW (BOOST mode)	. > 750 mW (BOOST mode) . 0.4 mW / nm (ECO mode)
Output after emission wavelength selector (not included in Solea White, SoleaR White) Bandwidth tunability (FWHM) Average output power @ 40 MHz repetition rate, @ 5 nm bandwidth (FWHM) Pulse width (wavelength and output power dependent)	1 mW (ECO mode)	. 1 mW (ECO mode) . 2.5 mW (BOOST mode)
Repetition rates Internal Range (user selectable)	2.5, 5, 10, 20, 40 MHz	2.5, 5, 10, 20, 40 MHz
External via NIM input Range Trigger level Connector	fixed trigger level at - 400 mV	fixed trigger level at - 400 mV
External via TTL input Range Amplitude Trigger level Connector	- 5 to + 5 V (maximum limits)	- 5 to + 5 V (maximum limits) adjustable between - 1 V and + 1 V
Synchronization output Amplitude		
Dimensions Base unit (w × d ×h)		
Operation Operating system. PC interface Temperature range. Maximum power consumption.	USB 2.0	USB 2.0 . 10 °C - 35 °C

最新情報はWEBサイトをご参照ください。



INVISIBLE OR VISIBLE
LASER RADIATION

AVOID DIRECT EXPOSURE TO BEAM

CLASS 3B LASER PRODUCT

IEC / EN 60825-1

All Information given here is reliable to our best knowledge. However, no responsibility is assumed for possible inaccuracies or omissions. Specifications and external appearances are subject to change without notice. Trademarks or corporate names are used for explanation and identification, to the owner's benefit and without intent to infringe.

© PicoQuant GmbH, June 2015



PicoQuant GmbH Rudower Chaussee 29 (IGZ) 12489 Berlin Germany Phone +49-(0)30-6392-6929
Telefax +49-(0)30-6392-6561
Email info@picoquant.com
WWW http://www.picoquant.com

